



指揮者 辻 秀幸 Conductor HIDEYUKI TSUJI

幼少よりヴァイオリン・ピアノ・フルート・金管楽器・作曲を学び、東京芸術大学声楽科及び同大学院独唱科修了。声楽を渡邊高之助、宗教音楽を小林道夫、佐々木正利の各氏に師事。1985年イタリアのミラノを中心にヨーロッパへ音楽遊学。L. グウアリーニ女史、F. タリアヴィーニ、H. リリングらの各氏に師事。1986年イタリアのノバラ市国際声楽コンクール入賞。同年ドイツのハイデルベルク、1988・89年にはウィーン楽友協会大ホール、2000年にはカイザースラウテルン、パッサウ他、数都市でベートーヴェン“第九”のソリストを努め、ヨーロッパ各地でコンサートに出演し好評を博す。

国内でもドイツ・イタリア・日本歌曲を中心に各地でユニークなリサイタル活動を展開し、オペラでは古典から現代に至るまで、数多くの作品に出演し、その優れた演技力と歌唱は、新聞・音楽誌上でも度々絶賛された。宗教音楽の演奏家としての活躍は特に目覚ましく、バッハ・ヘンデル・ハイドンの宗教曲・オラトリオの演奏では、ソリスト・エヴァンゲリスト・また指揮者として、その活動は常に注目を集めている。現在指導に当たっているアマチュア合唱団は17団体を数える。洗足学園音楽大学講師、日本合唱指揮者協会会員、アンサンブルBWV2001メンバー、iARTS理事、NHKラジオみんなでコーラスレギュラー解説者、ぐるーぶ・なべ幹事。共著に「わかって歌おう - レクイエム発音講座」、「フィガロの結婚 発音講座」等がある。



ソプラノ 佐竹 由美 Soprano NAOMI SATAKE

東京芸術大学及び同大学院修了、現在同博士課程在籍中。在学中、東京藝大「メサイア」公演のソリストとしてデビュー。学部を首席で卒業、皇居桃華楽堂にて御前演奏の栄を授かる。ロータリー財団給費留学生としてイタリアにて研鑽を積む。第53回日本音楽コンクール第2位入賞、同時に最高位に贈られる福沢賞受賞。イタリア・ノバラ市国際声楽コンクール第2位入賞、同時にA.C.ゴメス賞受賞。ドイツ・ライプツィヒ第8回バッハ国際コンクール第4位入賞。

「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」を始め、「カンタータ」などのバッハの作品のスペシャリストとして、またモーツァルト「ハ短調ミサ」ハイドン「天地創造」「四季」等、宗教作品のソリストとしての活躍は目覚ましく、確かな技術に支えられた透明感のある美声と洗練された歌唱が最大の魅力で常に高い評価を得ている。

オペラにおいては、日本オペラ協会『山椒太夫』安寿、東京室内歌劇場『エウリディーチェ』エウリディーチェ、日生劇場『後宮からの逃走』コンスタンツェ、98年二期会『フィガロの結婚』バルバリーナ、99年『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナなど、主要キャストとして出演、2000年の『魔笛』では夜の女王を完璧なコロラトゥーラ技法で演じ、満員の会場を沸かせた。また、04年二期会『エジプトのヘレナ』（日本初演）に難役アイトラで出演し、公演の成功に大きく寄与した。各地でのリサイタルやコンサート活動も積極的に行っており、その活動に対し、99年よんでん（四国電力）文化振興財団芸術文化奨励賞を受賞。二期会会員。

CD録音として、2006年秋ソロアルバム「A Lei～あなたへ」を発売。その他『世界の愛唱歌』・『ジョイフル・クリスマス』（キングレコード）、『バッハ・カンタータの森を歩む』I・II（東京書籍）、『バッハ幻の結婚カンタータ』（毎日クラシックス）、シューマンオラトリオ『楽園とペーリ』、国枝春恵作品集『セラフィム』、木下牧子室内楽作品集『ふるえる月』等がある。

ベルリン・フィルハーモニー・室内楽ホール

Berlin Philharmonie Kammermusiksaal

「人・空間・音楽の新しい関係」をコンセプトに、戦後世界最高のオーケストラ（ベルリン・フィル）に相応しいホールとして大ホールと共に作られた室内楽ホール。

建物の外観や内部だけではなく、他のヨーロッパの伝統的なホールとは明らかに違う音響効果を備えたホールとして近代ホールの傑作として賞賛されています。



Concert Plan

曲 目： バッハ作曲「マタイ受難曲」BWV244 全68曲

オーケストラ： ドイツにおいて活動をしているオーケストラを予定（2007年秋に決定予定）

ソ リ ス ト： その他のソリストは、ヨーロッパを中心に活躍しているソリストを予定

※決定次第、お申込の方へお知らせいたします。